

授業科目名	公衆衛生看護学実習Ⅱ		担当教員	◎鶴岡 章子、川上 裕子、 佐々木 亜希子	科目ナンバリング NP407
選択	開講年次：4年後期	単位：2単位	授業形態：臨地実習90時間		

【授業概要】

千葉県保健所および鴨川市ふれあいセンターを実習フィールドとする。前半の1週間は千葉県保健所にて実習を行い、県保健所の組織と成り立ち、保健所の機能と役割、保健所保健師の役割と責任、活動内容の実際(公衆衛生看護管理を含む)について、見学や参加を通して理解を深める。後半の1週間は鴨川市ふれあいセンターにおいて、地域住民と協働し、地域の健康課題の予防・解決にむけた健康教育の企画・準備・実施・評価の一連の過程を実施する。この過程を通して、保健師が行う地区活動の基本技術を修得し、地区活動における保健師の専門性について考察する力を養う。

【達成目標】

1. 保健所の機能と役割について理解できる。
2. 保健所における保健師の役割について理解できる。
3. 保健所保健師が担う保健・医療・福祉の連携について理解できる。
4. 地域住民や関係機関・他職種と連携・協働し、地域ニーズに即した健康教育を実施できる。
5. 保健師としての基本的態度を養う。

【履修条件】

3年後期までに開講されている保健師教育の必修科目を履修し、かつ4年前期の保健師教育に関わる必修科目を履修していること。

【授業計画】

実習1日目	オリエンテーション
実習2日目	学内実習
実習3～4日目	施設実習(保健所)
実習5日目	実習のまとめ(学内)
実習6日目	学内実習
実習7～9日目	施設実習(市町保健センター)
実習10日目	実習のまとめ(学内)

【教科書】

荒賀直子他(2022). 公衆衛生看護学.jp 第5版(データ更新版)、インターメディカル。
公衆衛生看護学に関わる科目で使用した教科書

【参考書】

公衆衛生看護学に関わる科目で使用した参考書、資料

【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度70%、課題レポート20%、カンファレンス・プレゼンテーション10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：公衆衛生看護学に関する科目、公衆衛生看護学実習Ⅰでの学びを復習して実習に臨む。実習計画に沿って計画的に資料等の準備を行う(2時間)。

事後学習：1日の実習終了後に各自の学びを省察し記述する。学修内容を整理し課題レポートを作成する(2時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録は、学生個人に返却する。

【備考】

各実習機関・施設においては、地域住民の生活に密着した活動を展開している看護専門職による、具体的かつ直接的な指導を受けながら学びを深めることができる。

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目

保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能

保健師として、もしくは看護師として5年以上の臨床経験をもつ教員が指導する。